

# 平成22年山梨県観光入込客統計調査結果 概要

## 調査方法 ～ 観光入込客統計に関する共通基準(観光庁)に基づく調査 ～

### 【調査基準の変更】

- 平成22年4月より、観光庁が定めた全国共通の「観光入込客統計に関する共通基準」を導入
- 平成22年調査のみ年度集計とし、平成23年調査からは暦年(1月1日～12月31日)集計
- 主な変更点

項目	観光入込客統計調査(H22.4～)	観光客動態調査(～H21)
調査対象	・年間入込客数が1万人以上または特定月で5千人以上の観光地点(445地点)	・全ての観光地点(816地点) ・データ調査(交通施設利用者数)
調査方法	・全観光地点を市町村経由で照会	一部の観光地点のみ市町村経由で照会
	・未回答施設は集計しない	・未回答施設は推計のうえ、集計する
	・イベント、行祭事は実人数に含まない	・イベント、行祭事は実人数を含む
調査頻度	・宿泊者数は観光庁の「宿泊旅行統計調査」の数値を使用	・宿泊者数は県の「宿泊客調査」の数値を使用
調査頻度	・四半期毎	・年1回

### 【観光客数調査】 :445地点(施設等332地点、イベント、行祭事113)

- 自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館、ワイナリー等)、温泉、スポーツレクリエーション(公園、遊園地等)、都市型観光(農産物直売所等)、その他(道の駅等)、行祭事・イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査

### 【宿泊客数調査】 :1, 350施設

- 観光庁が実施する宿泊旅行統計調査の結果を使用。
- 宿泊旅行統計(ホテル・旅館、民宿、ペンションなど県内の宿泊施設に対して、宿泊客利用状況を調査)

### 【アンケート調査】 :3, 189サンプル

- 対面聞き取り方式
- 四季毎に、年4回×県内10箇所調査
- 主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関等

## 平成22年調査結果

### ～観光客数調査結果～

#### ■観光客数

○実人数(全体) 25, 692千人(うち訪日外国人525千人(※))

※訪日外国人客数についてはアンケート調査のサンプル数が十分確保できず、誤差が大きい数値となっている可能性がある。

- ・日帰り／宿泊
  - 日帰り客数 19, 724千人(構成比76. 8%)
  - 宿泊客数 5, 968千人(構成比23. 2%) うち訪日外国人客数 406千人
- ・県外／県内
  - 県外客数 20, 065千人(構成比78. 0%)
  - 県内客数 5, 102千人(構成比20. 0%)
- ・圏域別
  - 峡中 4, 004千人(構成比15. 6%)
  - 峡東 4, 856千人(構成比18. 9%)
  - 峡南 1, 999千人(構成比 7. 8%)
  - 峡北 3, 699千人(構成比14. 4%)
  - 富士東部 11, 133千人(構成比43. 3%)
- ・一人あたりの観光消費額 9, 919円

### ～アンケート調査結果より～

#### ■観光客の居住地

- ・来訪者の多い県の順位は、東京都(28. 8%)、神奈川県(13. 9%)、静岡県(13. 6%)となっている。

#### ■観光客の交通手段

- ・調査地点までの利用交通機関は、「マイカー」(78.1%)が最も多く、次いで「貸切・観光バス」(8.4%)、「JR在来線」(3.7%)となっている。

#### ■旅行目的(複数回答)

- ・旅行目的を、「県内」「県外」別にみると、「県内観光客」は「文化・芸術」(26. 9%)が最多で、「県外観光客」は「自然を楽しむ」(30. 7%)、「温泉を楽しむ」(28. 8%)と続く。

#### ■県外客の山梨への訪問頻度

- ・山梨を訪れる訪問頻度は「1年に1回以上」が58.6%と最も多く、次いで「2～3年に1回程度」が19.5%と続く。

#### ■旅行計画の参考資料

- ・県外客では、旅行計画時の参考資料として「家族、友人の話」が一番高く34.6%、次いで「インターネット」が33. 2%となっている。県内客では「家族、友人の話」が51.9%と圧倒的に多くなっている。

## <参考>前年比較及び分析結果 ～ 平成21年度と平成22年度との比較 ～

◆調査基準の変更に伴い、前年調査結果との単純比較が困難であり、県内観光の傾向、観光客の動向等を把握する目的で、暫定的な比較・分析を行ったものであり、結果については、参考値扱いとする。

### 【比較・分析の方法】

- ・調査対象地点のうち、平成21年度及び平成22年度の両年とも回答があった地点のみを抽出し、観光客数の延べ人数で圏域別及び月別等の比較分析を行った。
- ・比較対象地点数:405地点
- ・比較対象年:平成21年度(H21年4月1日～H22年3月31日)と平成22年度(H22年4月1日～H23年3月31日)

### 【比較・分析結果】

- ・観光客延べ人数は県全体で対前年度比99.3%となり、0.7%減少した。主な減少要因は、3月に発生した東日本大震災の影響による観光客の激減が考えられる。
- ・圏域別では、富士・東部圏域のみ対前年度比105.7%と増加したが、他の4圏域は減少した。富士・東部圏域の主な増加要因として、夏山シーズンを中心とした富士山人気による観光客数の増加が考えられる。
- ・月別では5月がゴールデンウィークの好天やH21のインフルエンザ流行による観光客の減少もあり対前年度比107. 7%と増加している。また、10～12月に連続して観光客の増加が見られ、9月の「甲府鳥もつ煮」B-1グランプリ優勝が増加の一因となっていると考えられる。
- 3月は、東日本大震災の影響により、対前年度比58.6%と激減した。また、9月がH21のシルバーウィークによる増加の反動のため、対前年度比92.9%と減少している。

### 【圏域別観光客数分析】

- ・峡中地域 対前年度比 95. 0%
- ・峡東地域 対前年度比 92. 6%
- ・峡南地域 対前年度比 96. 9%
- ・峡北地域 対前年度比 94. 5%
- ・富士・東部圏域 対前年度比105. 7%

### 【月別観光客数分析】

- ・4月 対前年度比 97. 3%
- ・5月 対前年度比107. 7%
- ・6月 対前年度比101. 2%
- ・7月 対前年度比103. 2%
- ・8月 対前年度比105. 8%
- ・9月 対前年度比 92. 9%
- ・10月 対前年度比102. 6%
- ・11月 対前年度比108. 1%
- ・12月 対前年度比109. 0%
- ・1月 対前年度比 96. 3%
- ・2月 対前年度比 92. 2%
- ・3月 対前年度比 58. 6%

## ◆暦年集計による前年比較 ～平成21年と平成22年との比較～

### 【比較の方法】

- ・調査対象地点のうち、平成21年及び平成22年の両年で回答があった地点のみを抽出し、観光客数の延べ人数で比較を行った。
- ・比較対象地点数:430地点
- ・比較対象年:平成21年(H21年1月1日～12月31日)と平成22年(H22年1月1日～12月31日)

### 【比較の結果】

- ・山梨県全体で対前年比102. 5%
- 参考: H21観光客数延べ人数: 68, 422千人
- H21観光客数実人数 : 47, 138千人